

平成25年度 第41回 岐阜県高等学校選抜バスケットボール大会
 兼 第44回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会
 大会最終日：平成25年11月2日(土)
 会場：岐阜メモリアルセンターで愛ドーム

男子の部

<審判>

準決勝 美濃加茂 96 $\left[\begin{array}{l} 20 - 12 \\ 23 - 20 \\ 31 - 16 \\ 22 - 19 \end{array} \right]$ 67 岐阜総合 相宮俊郎・廣瀬卓哉

第1ピリオドは両チーム共にマンツーマンディフェンスで開始する。美濃加茂は⑦堂藤がリバウンドを粘り強く奪いセカンドチャンスで得点を重ねる。岐阜総合は⑥長野がドライブで得点を狙うが美濃加茂のディフェンスの前に思うように得点できない。第1ピリオド20-12と美濃加茂リードで終わる。

第2ピリオドに入り、途中美濃加茂はメンバーを総入れ替えし、⑫瀬瀬が3本の3Pシュート、⑩山田がゴール下を沈め、点差を広げる。岐阜総合は⑪森口の3Pシュート、⑫新川のゴール下シュートで一時は点差を縮めるが、次第に離されていく。前半は美濃加茂が43-32とリードする。

第3ピリオド、美濃加茂は高いシュート率で⑥武藤、⑧海津を中心に着実に得点し、さらにリードを広げる。岐阜総合は⑥長野、⑪森口が得点するも、相手のオールコートディフェンスに阻まれペースを掴めない。美濃加茂が74-48で第4ピリオドを迎える。

第4ピリオド、美濃加茂は粘り強いディフェンスから⑤坂之上⑦藤堂らが得点を重ね、最後は96-67で勝利し、決勝へと進んだ。岐阜総合は⑤有田の1対1、⑥長野のミドルシュート、⑩安永の3Pシュートで対抗したが、点差を詰めることができなかった。(高木大志)

準決勝 岐阜農林 84 $\left[\begin{array}{l} 14 - 19 \\ 21 - 6 \\ 20 - 14 \\ 29 - 15 \end{array} \right]$ 54 富田 名越龍男・大豆村斉

第1ピリオド、富田は⑧山田が3本連続でミドルシュートを決め好スタートを切ると、さらに⑦大滝のバスケットカウント、⑤桑原の速攻でリードを奪う。岐阜農林は⑤田中、⑦水口のミドルシュートなどで必死に追いかける。第1ピリオドは富田が19-14とリードする。

第2ピリオドに入ると、岐阜農林は⑥寺内のミドルシュート、⑦水口の3Pシュート、⑮松岡のバスケットカウントなど15連続得点で一気に流れを掴む。富田はこのピリオドはミスが多く、6得点に終わる。前半を終わり、岐阜農林が35-25とリードする。

第3ピリオドに入ると、岐阜農林は④吉田の1対1やミドルシュート、⑤田中のミドルシュートで次々と得点をあげ、好調を維持する。富田は⑦大滝のゴール下シュート、④真鍋のドライブやミドルシュート、⑬津谷の速攻で追い上げを図るが点差は縮まらない。

第4ピリオド、岐阜農林は⑩酒井の3Pシュート、⑯野原、⑦水口のミドルシュート、⑧福永のレイアップなど多彩な攻撃を見せ、相手につけ入る隙を与えない。最後は、岐阜農林はスタートメンバー全員が2桁得点を奪う力強いバスケットを見せ、84-54の大差をつけて決勝戦に進んだ。富田も⑥大野のドライブ、⑧山田、⑤桑原のミドルシュートなどで追い上げるものの、相手の勢いを止めることができなかった。(野々村浩二)

決勝	美濃加茂	67	$\begin{bmatrix} 18 & - & 13 \\ 17 & - & 17 \\ 16 & - & 23 \\ 16 & - & 12 \end{bmatrix}$	65	岐阜農林	大江裕之 角平和優・棚橋英一
----	------	----	--	----	------	-------------------

3年連続同じ顔合わせとなった決勝戦は、両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。美濃加茂は⑥武藤のゴール下で先制し、⑦堂藤、⑧海津の速攻、④木村のミドルシュートで得点する。岐阜農林は⑦水口、⑩野原のドライブ、ミドルシュートで得点する。第1ピリオドは美濃加茂のディフェンスが機能して18-13と美濃加茂がリードする。

第2ピリオド、美濃加茂は⑤坂之下、⑥武藤、⑦堂藤のミドルシュートが続けて決まり24-15とリードする。岐阜農林はタイムアウトを取った後、④吉田のミドルシュート、⑦水口の3Pシュート、⑤田中のゴール下が決まり追い上げていく。前半が終わり、美濃加茂が35-30とリードして折り返す。

第3ピリオド、美濃加茂は⑦堂藤の2本の3Pシュートや⑭安藤のミドルシュートでリードを広げる。しかし、岐阜農林は厳しいディフェンスで相手のミスを誘い、速攻につなげ、④吉田、⑩野原のシュート、⑥寺内のミドルシュートで遂に同点となり、最後は岐阜農林⑤田中がミドルシュート決め、第3ピリオド終了で53-51とリードして勝負は第4ピリオドに。

第4ピリオドは、互いに息をつく間もないほどのシーソーゲームとなる。岐阜農林は⑩野原、⑮松岡、⑥寺内がリズムよくシュートを決めれば、美濃加茂は④木村が2本のドライブからいずれもカウント1スローを決め追いつがる。美濃加茂⑦堂藤がドライブを決め2点リードした残り20秒、岐阜農林⑥寺内の同点を狙ったレイアップが決まらない。その後、美濃加茂も得点をあげられない。しかし、最後の反撃を狙った岐阜農林のパスはインターセプトされ万事休止。美濃加茂が苦しいゲームを67-65で辛勝し、全国選抜大会への出場権をもぎ取った。最後まで死力を尽くして走りきった両チームに拍手を贈りたい。(吉福 司)

女子の部

<審判>

準決勝	岐阜女子	123	$\begin{bmatrix} 42 & - & 10 \\ 23 & - & 13 \\ 20 & - & 11 \\ 38 & - & 14 \end{bmatrix}$	48	土岐商	鈴木雅雄・古田 怜
-----	------	-----	--	----	-----	-----------

両チームともオールコートマンツーマンディフェンスでスタートする。岐阜女子は⑦ヤシンのインサイドの攻撃と、スティールからの速攻でテンポよく得点を重ねる。対する土岐商は、岐阜女子の好ディフェンスにパスが繋がらず得点を伸ばせない。開始5分、岐阜女子は⑦ヤシンを⑩大橋璃に代えるが、ガード⑤坂田のパスからインサイドの攻撃と、速攻で大量に得点を重ね、42-10と岐阜女子が大きくリードし第1ピリオド終了。

第2ピリオド、岐阜女子は④鐘ヶ江⑤坂田をベンチに下げ、メンバーを代えてスタート。⑩大橋璃⑩田中が着実に得点をあげる。土岐商は④原が得意のドライブと3Pシュートで連続得点を重ねると、チームでディフェンスとリバウンドでも粘りを見せ、相手のインサイドの得点を懸命に抑える。しかし流れは変わらず、岐阜女子が65-23で前半を折り返す。

第3ピリオド、岐阜女子はさらにメンバーを代え、激しいディフェンスで攻め立てる。⑮大橋瑠のドライブ、⑩田中、⑬上田の3Pシュートで得点する岐阜女子に対し、土岐商も、⑦麓のシュートや⑤水野の3Pシュートで得点する。第3ピリオドが終わり、岐阜女子が85-34とさらにリードを広げて最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、岐阜女子はオールコートマンツーマンでよく走り、激しいディフェンスから⑩大橋璃の連続得点と、⑭大西の3Pシュートやドライブで次々と得点を重ね、123-48で勝利して、決勝へ進んだ。土岐商も縦のパスをよくつなぎ、④原、⑧伊藤の速攻や3Pシュートで得点するも、点差を縮めることはできなかった。(中田真由美)

準決勝	岐阜卓商	65	$\begin{bmatrix} 15 & - & 4 \\ 11 & - & 20 \\ 15 & - & 14 \\ 24 & - & 12 \end{bmatrix}$	50	高山西	長屋 貴・篠田義貴
-----	------	----	---	----	-----	-----------

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。序盤、岐阜卓商は、⑤津谷のドライブ、⑩市原の速攻でオフェンスのリズムをつかみ、順調に得点を重ねていく。高山西は④山下を起点に攻めるが、岐阜卓商の堅いディフェンスに阻まれ、思うように攻めることができない。第1ピリオドは岐阜卓商が15-4とリードを奪う。

第2ピリオド、高山西はオールコート2-2-1ゾーンに切り替えて相手のミス誘い、速いオフェンスを展開し、④山下のドライブ、⑥根津⑦橋爪の3Pシュートを中心に全員で得点を重ねて反撃する。岐阜卓商は④塚原のドライブ、⑩市原のシュートで応戦し、前半は岐阜卓商が26-24とリードして折り返す。

後半開始早々、岐阜卓商は⑤津谷のミドルシュート、⑩市原の速攻、④塚原のシュートで流れを引き寄せる。高山西は⑥根津の3Pシュート、⑧田中のドライブからのミドルシュートで応戦する。第3ピリオドは両チーム一歩も譲らず、互角の戦いを見せ、岐阜卓商が41-38とリードして最終ピリオドを迎える。

第4ピリオド、岐阜卓商はオールコートマンツーマンディフェンスで相手の出足を止め、一気にゲームの主導権をつかむ。岐阜卓商は⑦宮田の4連続3Pシュート、⑤津谷の2本の3Pシュートで一気に相手を突き放して、決勝へと駒を進めた。高山西も最後まであきらめずに必死に戦ったが、大事なところでのミスが響いた。(田中真紀)

決勝	岐阜女子	112	$\begin{bmatrix} 31 & - & 13 \\ 29 & - & 14 \\ 25 & - & 15 \\ 27 & - & 14 \end{bmatrix}$	56	岐阜卓商	松野瑞穂 菅野恵美子・野々村日希
----	------	-----	--	----	------	---------------------

全国選抜大会の出場権をかけた決勝戦。両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。立ち上がり岐阜女子⑦ヤシンがゴール下で得点すると、④鐘ヶ江もドライブで得点する。ディフェンスでは⑤坂田が激しいディフェンスでスティールし着実に得点を伸ばしていく。対する岐阜卓商は⑤津谷のドライブと3Pシュートで得点する。ディフェンスは2-3ゾーンに替え何とか喰らいつこうとする。第1ピリオドは岐阜女子が31-13とリードして終了。

第2ピリオド序盤、相手のゾーンディフェンスに岐阜女子はシュートが思うように決まらずペースを崩しかけるが、激しいディフェンスからリズムをつかみ、④鐘ヶ江、⑧谷が速攻で得点しリードを広げる。岐阜卓商はオールコートマンツーマンに戻すが点差を縮めることができない。岐阜女子が60-27とリードを広げ前半を折り返す。

第3ピリオドに入っても岐阜女子の勢いは止まらない。④鐘ヶ江のドライブ、⑧谷のミドルシュートで次々に加点していく。途中からベンチメンバーを出場させる余裕を見せる。対する岐阜卓商はディフェンスを変化させながら、⑬大西が相手の激しいディフェンスをドリブルで突破し、⑤津谷が負けずと得点をあげる。第3ピリオドが終わり、岐阜女子が85-42と優位に立つ。

第4ピリオド、岐阜女子は激しいディフェンスからの速い攻めが止まらない。⑨野澤の速攻、⑥天野、⑩石井の3Pシュートなどで得点を重ねる。最後は112-56のダブルスコアで岐阜女子が快勝し、全国選抜優勝大会の出場権を勝ち取った。岐阜卓商は3年生を中心に最後まで諦めず、⑧梅地を起点に、⑤津谷、④塚原がよく頑張ったが、相手に追いつくまでは至らなかった。(林紗規子)